

小野市の紹介 ・ 背景

- 兵庫県の南東部に位置し神戸から車で1時間、大阪からも車で1時間
- 市は南北2本の高速道路に挟まれ、中央に国道が通る**交通の結節点**
- **製造品出荷額が全国上位**で、昨年、県と共同で整備した**新産業団地**に**製造業・物流業**など8社が進出決定
- 市民・工業会・行政が一丸となってマイナンバーカードを普及（**交付率全国5位**）



新たに県と共同で整備した「ひょうご小野産業団地」



伝統工芸品「播州そろばん」

神戸・大阪からアクセス良好



現状の課題

- 県内初となる高校3年生までの医療費無料化に取り組むも、**コロナ禍で少子化**が進行
- 市・経済団体・金融機関で三者協定を締結した**SDGs推進に関する取組の深化**
- 新たに立地予定の製造業・物流業などをはじめとした、**企業とのパートナーシップの強化**
- 新産業団地に直結する**新たな交通網**（県による高規格道路と、隣接する三木市内でのスマートインターチェンジが、令和6年度に完成予定）を活かした**新たなヒト・モノの流れの創出**

事業の
理念
・
目的

「行政も経営」 + 企業の皆さまとの「共創」 ⇒ 小野市のポテンシャルを高め持続可能なまちへ

- 子どもたちが夢を持ち続けられる魅力あるまちづくり
- 豊かな自然・地域資源を活かした脱炭素化の推進
- 便利な交通資源を活かした環境配慮型の移動手段の導入

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



これまでの
取組
・
事業
内容



〔共創による次なる展開〕

更なる魅力向上（デジタル技術を活かした子どもの安全安心の取組、特産品販売等拠点新設、効率的な施設管理の取組）



〔共創による次なる展開〕

地域資源（ため池や遊休地）と都市機能が調和した脱炭素化施策の実現



〔共創による次なる展開〕

環境にやさしく、誰もが利用できる移動手段の強化（EV化、バリアフリー化、デジタル等の新技術の導入）

得られる 成果等

環境・経済・社会における地域課題を「共創＝Win-Winの関係性」で解決し、好循環を創出

- 子どもにやさしいまちづくりへの支援による**企業PR効果**
(年始に関西ローカルのテレビ番組でも紹介)
- 脱炭素化施策へのノウハウを含む支援による**事業化モデルの構築**
- 効率的な環境配慮型の移動手段導入支援による**デジタル化・カーボンニュートラルの推進**



寄附する メリット等

企業の皆さまのメリット

- 感謝状の贈呈と市ホームページでの企業名PR
- 地域課題解決への貢献による企業イメージの向上
- 市や地域との関係性構築による地域資源を活かした新規事業展開

企業の皆さまへの期待

- 企業版ふるさと納税での寄附協力
- 市との共創による、地域課題の解決
(独自のノウハウを活かした新たな事業の立ち上げも期待しております。)